

第34回種子交換会（2017－18年）のご案内

東京山草会 種子交換委員会

- ・今年も格別の猛暑(特に西日本)と日照の少ない(関東地方)の天候不順の年となりましたが、皆様いかがすごされましたか。また、栽培されている山野草の調子はいかがでしたか。
- ・今年も例年のように「種子交換会」を実施します。何とか充実した種子交換会を成功させたいと思います。多数の皆様のご参加とご協力をお願いします。
- ・種子リストは昨年から引き続いての新分類（APGⅢ）の固定番号制で、種子名と番号の関係が固定しています。
- ・交換会は種子提供者によって成り立っています。多くの方が種子を提供して下さることを切望しています。
- ・種子の受付開始は10月10日と、昨年とほぼ同じです。できるだけ早く送って下さる様お願いいたします。

1. 参加資格：（昨年と同じです。）

①東京山草会の会員

②種子交換会に参加したことがある団体・個人（これまで種子交換会に参加されていなかった団体で全日本山草会連絡会に参加されていた会、団体も含む）。ただし団体として参加される場合も、種子の提供、配布については、個人ごとと致します。

③その他、種子交換委員会で認めた団体・個人。ただし団体として参加される場合も、種子の提供、配布については、個人ごとと致します。

2. 参加申し込み方法

- ・①の東京山草会の会員は、全員参加申込済みとして種子リストを配布します。
- ・② および③のかたは、種子を提供したかた（団体）は自動的に参加申込み完了とします。
- ・春の交換会のみ提供頂いた方も、参加申し込み済みとします。
- ・種子を提供しないかたも、種子を申し込むことができます。申込み方法は、種子リストに掲載いたします。東京山草会の会員は無料です。その他の方は有料（62円切手15枚）です。

3. 種子提供者優待（種子交換会は種子を提供して下さる方々で成り立っているので絶対優先とします。

- (1) 優先メンバー：種子を提供頂いたかた（春の交換会に種子を提供頂いたかたも含まれます）と、交換会に協力頂いたボランティア（種子の配布順は提供者の後となります）。種子の配布順は、提供頂いた種類、量、種子の希少性を勘案して種子交換委員会で決定します。
- (2) 一般メンバー：以上が完了した後、種子を提供されないかたに配布いたします。

4. 対象種子（球根、ムカゴ等を含む）

- (1) 国内・国外の山野草の種子で、今年採取の、山野草栽培に適したもので、保存方法等（別紙1参照）が適切なもの。
- (2) いわゆる「園芸植物」の種子は、ご遠慮下さい。

- (3) 貴重な種子や人気度の高い種子の提供を期待しています。(例えば、キタダケソウ、シャジン類、珍しい斑入り種等) 提供されたかたは、配布時の優先度が高くなります。

5. 対象外 (受付しない) 種子: (この項は昨年と同じです。)

- (1) 法律で禁止されているもの: ただし、実際にはほとんどの種類は交換会の対象です。絶滅危惧植物も、ハナシノブ、アツモリソウ、キタダケソウ、その他多くの種がOKです。また、万一法律で禁止されている種子が提供された場合には、提供者へ返送いたします。あまり気にしないでもかまいません。お問い合わせいただいても結構です。
- (2) 完全な雑草 (どこにでもあるもので観賞価値がないもの)
- (3) 外来種で、はびこって困るとされているもの (特定外来生物に指定されている植物、例えばオオハンゴウソウ等)、その他問題ありと指摘されたことがあるもの (タカサゴユリ) についても、対象外とします。
- (4) 基本的に、ほっておくと、いくらでも増えて、駆除が難しいものは、交換会の対象外と考えてください。

6. 種子提供の期間 10月10日 (火) ~ 11月15日 (水) (消印有効)
期限内に種子の発送ができない場合には、提供リストだけでも送って下さい。
必ずメ切は厳守してください。遅れた場合は、余剰種子分譲にまわります。

7. 種子の提供方法

- (1) 種名をしっかりと確認し、精製した種子を、別紙の方法に従って、分包して種名、提供者名を記入し、別に提供種子リストに記入し、期限内に送付してください。
- (2) 種子の提供リストだけを先に送った場合でも、完熟種子を12月15日までに送ってください。(それでも完熟しない場合は、連絡ください。)
- (3) 期限までに提供種子 (提供リスト) を発送しなかった場合は、種子交換リストに掲載できません。また、提供された種子は余剰種子とし、余剰種子の分譲に回します。また、配布時の優先の扱いはできません。ご協力をお願いいたします。
- (4) 提供種子の受付開始は10月10日です。受付開始後、できるだけ早く送付を!

・毎年、種子交換リストの作成に大変な時間を要しています。締切日付近の日に作業が集中することを避けたいので、できるだけ早く送って下さい。

8. 種子の申込み方法、配布数、配布順序など

- (1) 詳細は12月5日頃発送予定の「種子リスト」でご案内いたします。
- (2) 前回実績配布袋数: 最大30袋
- (3) 受付順は、リスト到着日と種子申込書の発送日 (消印) を基準とします。
(配布順を早くしようと、速達で送る方がいますが、その必要はありません)
- (4) 申込書の所定欄へリスト到着日と種子申込書の発送日を記入してください。

9. 全体スケジュール (現在の予定です。変更の可能性もあります。)

- 10月10日 種子提供受付開始、種子リスト作成開始 (パソコン入力開始)。
- 11月15日 提供種子受付締切 (消印有効)
- 11月23日 種子区分、番号記入・照合 (集合作業: ボランティア募集)

- 1 2月03日 種子リスト作成完了
- 1 2月05日 種子リスト発送
- 1 2月17日 希望種子申込締切（消印有効）
- 1 2月23日 種子発送（集合作業：ボランティア募集）

1 0. 種子の採取方法、保管方法、精製方法（別紙1を参照して下さい。）

- (1) 精製して、シイナ、殻、ごみを取り除いた種子を送って下さい。ゴミと種子はルーペで見ると判別しやすくなります。また、種子なのかどうかは、切断して観察すればわかります。その方法は、添付資料1に記載しています。ゴミか種子かよく分からない場合があると思います。種子の形状が判らない場合は、西田または秋本に種名を言っていただければ、図鑑やネットで調べて、連絡いたします。
- (2) キク科は自家受粉しないものが多く毎年シイナが多いのでご注意ください。配布を受けた種子が全てシイナであったとか、交雑していたと連絡も入っています。キク科の種子で、羽毛付きのものについては、別紙1を参照して下さい。
- (3) 保管中のカビ発生にもご注意ください。

1 1. 種子の分包方法（別紙3を参照してください）

- (1) 乾燥禁物の種子は、チャック付きのビニール袋へ入れてください。その他の種子は、紙またはチャック付きのビニール袋へ分包してください。
- (2) 1袋の種子の量は、多くても3～4号鉢への播きつけ量の2回分を目安としてください。
分包した種子の量が多すぎると、当方で再分包する手間がかかってしまいます。
- (3) 種子が多量の場合、分包は1種10袋までとし、残りは分包せずに大袋のまま提供をお願いします。（神代植物公園での販売用などのため、こちらで担当者が分包します。）
- (4) 貴重種の種子は少量(1袋でも可)でも歓迎します。
- (5) 精製、調製した種子を別紙3に記載した方法で包んでください。全部の袋に種名、提供者名を記入してください。
- (6) 種名は正式な和名、学名で記してください。通称、俗名、販売店などで勝手に付けた名前はできるだけ避けてください。毎年、正式な種名が不明のものについて、調査にかなりの手間がかかっています。購入したり、貰った場合などには、できるだけ正式名を確認し、ラベルに記入してください。
- (7) 冬眠中の小球根類（サギソウ、ウチョウラン、原種球根類）は、郵送時につぶされないように、小さなタッパーケース、厚手のボール箱、写真フィルムのケースなどのしっかりした容器に入れてください。
- (8) テンナンショウ類の果実は、提供期限内ではまだ赤くなりませんが、赤くなっていないものでも、自然に追熟するのでOKです。果皮を剥がさずに提供して下さい。大きさはマッチ棒の先より少し大きいものでもOKです。（封筒などの紙袋に入れてください。ビニール袋には入れないでください。カビが発生しやすくなります。）
- (9) 水分がテンナンショウ類の種子と似た種子は果皮を剥がさずに提供してください。（例えばヤマシャクヤク。）果皮を剥がさず、しかもあまり乾燥させないほうが、寿命が長く、発芽率も高いようです。カビ発生防止のため、必ず冷蔵庫に保管してください。
- (10) 水分の多い漿果・液果（例えばキイチゴ類など押すと簡単に潰れるもの）は水洗い

して種子を取り出して、乾燥しないように、僅かに濡らしたキッチンペーパーなどで包んで、チャック付きのビニール袋に入れ冷蔵庫で保管して、そのまま提供してください。

- (11) 高齢などの理由で、精製や分包が困難な方の場合、例外として未精製の大袋での提供も受け付けます。
- (12) 種名の間違ひは、種子交換委員会でチェックすることが難しいので、記入後、再確認して下さい。毎回間違ひが発生していて、播種した方から、「別のものが生えてきて、がっかりした」と、ご指摘がありました。
- (13) 1種類ごとに輪ゴムでひとまとめにしてください。
- (14) 同封した「提供種子一覧表」にも記入し、(パソコン入力した場合には、打ち出して) 種子と一緒に送って下さい。
- (15) 分包用紙が、同封したもので不足する場合には、西田まで連絡ください。ただし、適当な無地紙を切断して使用していただいても構いません。

1 2. 種子提供一覧表の記入方法 (パソコン入力時と同じ) (この項は昨年と同じ内容です。)

- (1) 種名は標準和名または学名のどちらかを記載して下さい。和名はできるだけ正式なものを記入してください。大手の種苗業者が俗名を付けたものは、その業者へ問い合わせれば、正式名や学名を教えてくれることがあります。
- (2) どうしても正式名が不明なものも、一応受け付けます。その場合、できるだけ写真や形状についてのメモを添付して下さい。委員会のほうで正式名を調べますが、それでも不明の場合には、種子リストの末尾に「？」つきで名前を掲載したり、場合によっては種子リストに掲載しないこともあります。たとえば「サンジソウ」の名で提供されたことがありました。しかし「サンジソウ」とよばれているものは3種類あり、提供されたものが、どれであるか不明でした。
- (3) 採取場所は、野生株から採種した種子の場合にだけ記してください。(都道府県単位で記入)
- (4) 提供者コメント欄には、特徴(特別な形状、希少性、等)を記載していただければ、パソコン作業や記載スペースで許されるかぎり詳しく、種子リストに記載します。写真も送っていただければ、リストにはコストや手間の点で掲載できないのですが、当会のホームページに掲載する予定です。写真は、メール添付で送っていただいてもOKです。
- (5) 一般的特徴の欄には、花色、開花時草丈について、普通に知られているものでも、なるべく記入して下さい。種名の間違ひを防ぐためと、栽培条件による草姿の違いの参考に供するためです。
- (6) パソコンで提供種子リストを作成して、メールに添付して、末尾に記したアドレスに送信していただければ、パソコンへの入力手間が大幅に減るので非常に助かります。

1 3. 種子と種子提供一覧表の送付先と送付方法

(1) 種子・一覧表等の送付先

・全てのかた。

〒223-0053 横浜市港北区綱島西 6-7-16-401 西田和憲

- (2) 「第4種農産種苗」と朱書きし、開封にすれば、封筒サイズに制限がなく、また写

真ファイルのケースのような厚いものでも低料金で送ることができます。小さな段ボール箱のように箱状のものでも、送ることができます。（50gまで72円、75gまで110円、100gまで130円、1kg程度までは、同一重量の普通郵便より10～40円安い）。宅急便で送るよりかなり安価です。

(3) 種子リスト返送用の封筒および切手を同封する必要はありません。

14. 草友に紹介するためなどの理由で、この案内文と種子リストを別途ご希望の方

適当な紙に「34回種子交換会の案内と種子リストを送ってください。：住所、郵便番号、氏名、所属山草会、希望部数」を記し、費用として、（52円切手6枚×希望部数）を同封して、下記の受付担当へ送付してください。案内文と種子リストを送ります。

宛先：〒223-0053 横浜市港北区綱島西 6-7-16-401 西田和憲

15. ボランティアの募集（参加された方は種子配布の優待扱いをいたします。）

(1) 種子の精製・分包作業。（自宅作業）

(2) 種子区分け、番号記入、リスト確認・修正作業

・日時：11月23日（木）午後1時～午後4時

・場所：すみだ産業会館 JR錦糸町駅から徒歩5分（電話03-3635-4351）
（昨年と同じ場所です。）

・区分け、番号付け、リスト作成等種子交換委員、担当者総出で作業します。

・上記の時間帯のうち都合のよい時間の短時間でも結構ですので、多くの皆様の参加をお願いいたします。

(3) 申込種子の封筒詰め、発送。

・日時：12月23日（休日）午前9時～午後4時

・場所：すみだ産業会館 JR錦糸町駅から徒歩5分（電話03-3635-4351）
（昨年と同じ場所です。）

上記の(2)と同様の作業をします。多くの方のご参加をお願いいたします。

16. 連絡先、問い合わせ先

西田か秋本へ、郵便、FAX，メールで問い合わせてください。電話は、不在のことが多いので、ご容赦ください。

西田和憲：

223-0053 横浜市港北区綱島西6-7-16-401

メールアドレス：kaz-tokyoseed@f03.itscom.net

秋本靖匡：

270-0035 松戸市新松戸南2-116

メールアドレス：akimotoy@jcom.zaq.ne.jp

（これまで使用していたAGStakimoto@gmail.com は止めました。）

FAX：047-343-5819（秋本のみ）

（以上）